

やる気発生装置

教室通信 Vol. 3020

R 8. 2. 19

個別指導教室

セカンド・キャンパス

075-711-0399

<https://www.second-campus.com/>

中学(1,2年)				高校(1,2年)			高校入試
修学院	高野	近衛	加茂川	京都工学院	堀川	紫野	公立中期
2/16~	2/18~	2/18~	2/18~	2/25~	3/3~	2/26~	
第4回定期テスト	学年末テスト	第4回定期テスト	第4回定期テスト	学年末考査	学年末考査	学年末考査	3/6
★終了★	2日目	2日目	2日目	あと6日	あと12日	あと7日	あと15日

教材準備の季節・「紙」について語る



神戸まで足を運んだ展示会もあります。たまに京都から抜け出すのもいいものです。



送ってもらった新版(上)では、(下)のように裏表紙裏に印刷されていた最終ページが1枚中に入っていました。現場の声を反映しての改善だそうです！

きのうは教材展示会のスタッフに入らせてもらった話をしましたが、その他、一参加者として寄せてもらった展示会ももちろんあります。いまの業界の傾向として、デジタル教材や学習アプリなどがメインの会社は元気にアピールをされますが、紙教材系の出版社さんがちょっとおとなしいですね。僕は、こと勉強の場においては「紙」はものすごく大事だと考えています。たしかに映像を見る、遠隔で情報をやりとりする、データを整理する等、デジタルならではの利点はありますが、考えたことを書いてまとめる、覚えたことを書いて確認するといったことはやはり紙に書き込むことに絶対的な効果があるのを経験上感じています。デジタル機器は使いつつも、学びの場で紙がもつ力は変わりません。

京都の教材会社、T出版さんは、教科書にピッタリであることやありがちな教材の形式にとらわれない、とがった教材でブランドを築いている会社です。展示会で、おなじみのK氏にお会いすると、仕事以外のことにも話が弾みます。ことし改訂されたある教材はK氏自身が編集に関わられたとのことですが、「前のバージョンはね、最後のページが裏表紙の裏側に直接印刷されていたので書き込みにくいと言われて、今回はそこも改善したんですよ」と。こういう工夫の余地があるのは紙ならではですよね。

といえば、僕が中学2年のとき、数学の先生に「授業で何か改善してほしいことはあるか?」と聞かれたので、「学校で使っているワークの紙がツルツルしてて消しゴムで消しにくいので別の会社のものに代えてほしい」と言ってみたところ、次の学年でほんとに代えてくれたので驚きました。僕の意見を聞いてくれたのかは分かりませんがありがたかったです。そのとき代えてほしいと言った会社のワークを使っている生徒さんがいて、30年ぶりに再会したのですが、現行版ではちゃんと書きやすい紙になっていました。世の中、しっかり進化しているんです。時代は変わっても、「紙に書く」というプロセスを大切にしたいなという思いです。

当面の教室予定

2/19(木)~2/21(土)

16:00~22:00

2/22(日)

16:00~21:00

2/23(月・祝)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

明日2/20(金)のテスト

学校/学年	教科
高野	2
近衛	2
加茂川	1